

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

作製日 R3.6.18

事業ID	653	2次評価 対象外事業	①1件500千円未満の事務事業	分野	4	04 4都市・住宅	課名	企画課
事業コード	00002			基本施策	2	02 2 定住を支えるまちづくり	班名	政策班
事業名	空き家対策に関する事務			大施策	1	01 1 総合的な定住促進	担当者	大石
				小施策	2	02 2 空家・空地対策の充実	副担当	山本、黒田、山口

◆事業の説明

◆事業の予算

(単位:千円)

事業の概要	適正に管理されていない空き家により、周辺住民の生活環境に影響を与えることが問題となっており、町にも相談が寄せられるため、関係各課と連携して所有者等に適正な維持管理を求めるなどの対応をしている。 また、空き家の譲渡所得3,000万円特別控除の制度を利用いただき、空き家の発生を抑制することを目的に、申請者に控除を受けるために必要な確認書を交付している。	会計	款項目	大事業			
			R2決算額	R3決算見込額	R4事業費	R5事業費	R6事業費
		直接事業費	0				
		人件費	337				
補足説明		事業費合計	337				
		国庫支出金	0				
		県支出金	0				
根拠法	空家等対策の推進に関する特別措置法	地方債	0				
計画等		その他	0				
		一般財源	337				

◆事業の対象・活動・成果

◆事業の指標

対象 (誰・何に)	町民 空き家所有者 空き家	対象 (誰・何に)	指標	単位	R2実績	R3見込	R4計画	R5計画	R6計画
			相談者数	人	0	2	2	2	2
活動 (何を)	適正に管理されていない空き家への対策	活動 (何を)	相談件数	件	0	2	2	2	2
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
成果 (めざす形)	空き家の減少 空き家の適正管理	成果 (めざす形)	解決件数	件	0	2	2	2	2
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

◆事業の現況評価

◆事業の状況・課題・提案・方針

必要性	事業の必要性は薄らいでいませんか？ [5点] ますますニーズは高くなっている		状況	適正に管理されていない空き家が周辺住民の生活環境に影響を与えることが問題となっており、町にも相談が寄せられ対応している。平成31年4月に中井町シルバー人材センターと空き家の適正な管理に関する協定を締結し、相互に連携・協力し空き家等の管理の適正化に努めているとともに、空き家の相談に対して効率的・効果的に対応するため、庁内連絡体制(役割分担)を明確化した。		
必然性	行政が関与しなければならない事業ですか？ [4点] 行政(町)が関与する必然性がある		課題	町内に点在する空き家の全容が把握できていないので調査を行う必要があるが、調査に時間を要するとともに、職員に建築職が不在のため、家屋の危険度を判定することが困難である。		
緊急性	即座に対応しなければならない事業ですか？ [4点] 依然として緊急性が高い		提案	適正に管理されていない空き家の問題は周辺住民にとって深刻な問題であるので、空き家所有者に活用方法と適正な管理を促していく。 また、空き家発生を抑える仕組みづくりにも取り組んでいくとともに、庁内においても効率的・効果的に事務が推進できるよう引き続き調整を図っていく。		
実効性	手段(やり方)は適切なものとなっていますか？ [3点] どちらも言えない		方針	空き家の発生を抑え、管理されない空き家を減らす仕組みづくりを検討し、町民の住環境向上に努める。		
時代即応性	事業の目的が色あせていませんか？ [5点] 時代の変化や課題に対応している		一次評価 (主管課)	①拡大・拡充	二次評価 (内部評価)	①拡大・拡充
持続可能性	やればやるほど職員の負担となっていないですか？ [3点] どちらも言えない		評価理由	空き家は年々増加しており、空き家の減少や適正な管理が求められているため。		